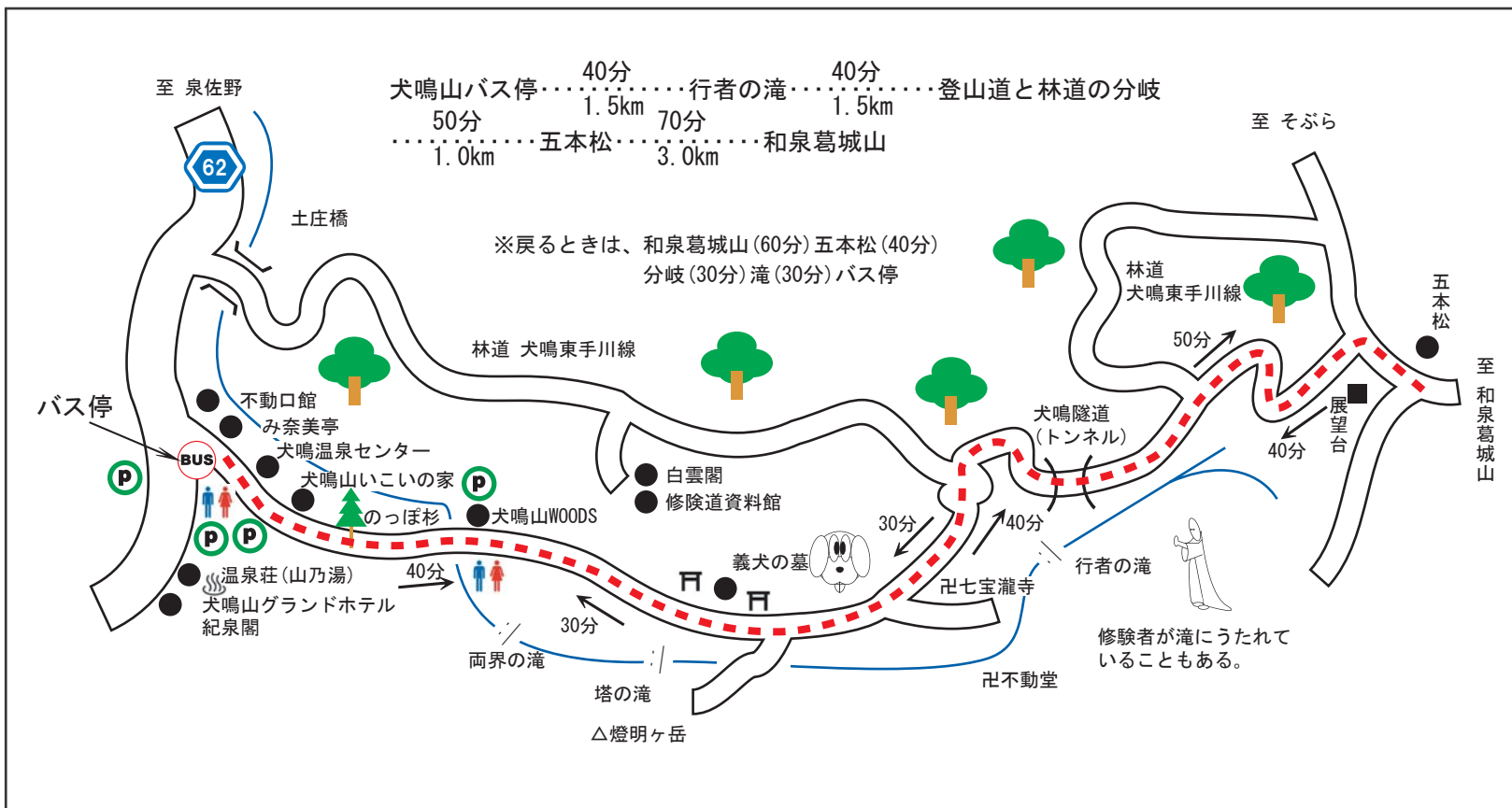


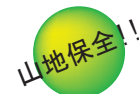
犬鳴山ハイキングコース

うっそうとした森林と溪谷美で知られる、名勝犬鳴山。新緑、紅葉の時期には見事な景色です。また、いたるところに修験道の行場があり、溪全体が神秘的な雰囲気にも包まれています。現在、大阪府で一番高いといわれている38mの大木もこの参道にあります。

●犬鳴山温泉（美人の湯）
 泉質 純重曹泉 16～20度
 効能 リウマチ 神経痛 胃腸病 皮膚病 美肌作用



ハイキングでの注意事項



木や花を折ったり持ち帰ったりするのはやめましょう。



ゴミはすべて持ち帰る。足跡のほかは何も残さない、というのが山を愛する人たちの合言葉。



山で一番怖いのは、山火事。あなたのちょっとした注意で山火事は防げます。念には念を入れて火の用心。

義犬伝説

寺伝によると寛平年間、紀州のある猟師が鹿を追って滝のあたりに来た時、連れていた愛犬がうるさく吠えたてました。

そのせいで獲物を取り逃がした猟師は、怒って犬の首をはねてしまったのです。愛犬の首はそのまま躍り上がって、猟師を呑もうと狙っていた大蛇にかみつき、蛇とともに息絶えてしまいました。犬が吠えたのは、主人の危急にいち早く気づき、救おうとしたからでした。この心を知った猟師は悔いて修行者となり、愛犬をねんごろに供養し、また自分の田地を不動堂に寄進しました。この時に宇多帝より犬鳴山と勅号を賜うたのである。

犬鳴山の歴史

犬鳴山は修験道の霊場であり、葛城二十八宿の根本道場としての位置づけを持っています。

七宝瀧寺の寺伝によると、約1300年前に修験山伏道の開祖といわれる役ノ小角(役の行者)によって大和の大峰山より6年先立って開山されたとされています。

全国でも有数の行者が今も修行に集まり、行者の滝では滝に打たれる修験者の姿が見られます。

山中には、大小48滝がありその中で特に両界の滝、塔の滝、弁天の滝、布引の滝、古津喜の滝、千手の滝、行者の滝の七瀑が有名で、この七飛瀑を金銀等の七宝に比して寺号を七宝瀧寺と淳和天皇が命名したものです。